

ナヨシダ	<i>Cystopteris filix-fragilis</i> (L.) Bernh.	絶滅危惧 I 類
		イワデンド科
選定理由	岐阜県では生育地、個体数共に極めて少なく存続の基盤が脆弱である。	写真(荻山恒弘)
形態の特徴	夏緑性で小型のシダ植物。根茎は短く這い、葉は叢生し2回羽状複生し高さは10-20cm位。孢子嚢群は辺縁寄りに着く。	
生態的特徴	やや標高の高い山地の空中湿度が高い岩上に生育している。	
分布状況	県北の限られた場所に見られる。	
減少要因	もともと個体数が少なく、乾燥や光条件等の環境悪化によるものと思われる。	
保全対策	生育地は自然度が高い場所であり、現状維持が望ましい。	
特記事項	最近の分類ではナヨシダ科として扱われている。	
参考文献	岩槻邦男. 1992. 日本の野生植物. シダ. P. 230. 平凡社. 東京. 倉田悟・中池敏之(編). 1987. 日本のシダ植物図鑑. 5. P.638-641. 東京大学出版会. 東京. 邑田仁・米倉浩司. 2013. 維管束植物分類表. P. 41. 北隆館. 東京.	

文責: 荻山恒弘